



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

福井大学遠赤外領域開発研究センター教授

1. 教授 1 名
2. 遠赤外応用技術部門
3. テラヘルツ帯を含む広い意味での遠赤外分光とその応用研究。遠赤外分子分光学、遠赤外天文学、サブミリ波（テラヘルツ帯）分子分光によるリモートセンシング、サブミリ波イメージング等を含む。当センターで進めている遠赤外光海洋観測、高出力遠赤外光源を用いた技術開発（新医療技術開発、新素材開発研究等）や生化学的研究等との連携も可能。
4. 上記専門分野の研究と工学部物理工学科及び大学院工学研究科における専門科目と研究指導。なお、他学科向けの専門基礎科目や全学共通科目を担当することもある。
5. (1) 平成 19 年 4 月 1 日、(2) なし
6. 博士号取得者
7. 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷 10 編、科研費等外部資金の取得リスト、研究業績の概要（1,200 字程度）、今後の研究計画（1,200 字程度）、推薦書又は照会可能な方 2 名の氏名と連絡先
8. 2006 年 10 月 31 日（火）必着
9. 〒910-8507 福井市文京 3-9-1
福井大学遠赤外領域開発研究センター長
斉藤輝雄
Tel: 0776-27-9762
e-mail: saitot@fir.fukui-u.ac.jp
10. 封筒に「教員応募書類」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。

日本大学理工学部物理学科教員

1. 助手 2 名
2. (1) 理工学部物理学科
(2) 東京都千代田区神田駿河台 1-8
3. 以下の実験分野
 - 1) 宇宙物理またはプラズマ物理に関連した分野
 - 2) 広い意味での物性分野（本学科にある磁性、超伝導、半導体の研究分野と重複しない分野が望ましい。）
4. 物理学科の実験と演習を担当し、卒業研究と大学院教育に意欲的に取り組む方。私学の教育・研究の立場を理解し、学内を拠点として当物理学科の教員と協力して教育・研究を積極的に推進する方。
5. 2007 年 4 月 1 日
6. 着任時に博士号取得者。原則として 40 歳以下。
7. (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト、(3) 主要論文別刷 3 編（コピー可）、(4) 今までの研究概要と今後の研究計画（約 2,000 字）、(5) 教育に対する抱負（約 1,000 字）、(6) 推薦状 1 通
8. 2006 年 10 月 16 日（月）必着
9. 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8
日本大学理工学部物理学科主任 久保田洋二
Tel: 03-3259-0920
e-mail: ykubota@shotgun.phys.cst.nihon-u.ac.jp
10. 封筒に「宇宙助手公募書類在中」もしくは「物性助手公募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。応募書類は不返却。適任者がいない場合、採用を保留する。
詳細は <http://www.phys.cst.nihon-u.ac.jp/> を参照。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

東北大学大学院理学研究科天文学専攻助教授

1. 2006 年 5 号（第 99 巻 5 号）

2. 李 宇珉 (東北大学大学院理学研究科助手)
3. 2006年9月1日

研究助成

山田科学振興財団

2007年度研究援助候補推薦

山田科学振興財団より本会宛に、下記内容の2007年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。推薦書は学会推薦となっておりますので2007年2月末日(水)必着までに日本天文学会宛に提出して下さい。

1. 援助の対象: 自然科学の基礎的研究(実用指向研究は対象外)

◎研究援助趣旨

1. 萌芽的研究
 2. 大学新設(任)研究室で実施される研究
 3. 学際性の豊かな研究
 4. 国際協力研究
2. 援助の金額: 1件当たり100~500万円の援助を10件程度。
(援助金の使用期間は贈呈した年度及びその次の年度の計2年間とします。)
 3. 推薦件数: 1学会ごとに2件以内。

★2007年度研究援助候補推薦要項・推薦書用紙は全て下記ホームページ上に添付されております。

山田科学振興財団 <http://www.yamadazaidan.jp/>

研究助成結果

山田科学振興財団 2006年度研究援助

研究主題: 彗星・星間分子における原子核スピン異性体存在比

代表研究者: 河北秀世

援助金額: 150万円

研究会・集会案内

第4回 市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る—物理科学最前線—」のお知らせ

宇宙は非常に高温・高圧の熱平衡状態から始まり、豊かな階層構造をもつ現在の姿に変化してきました。夜の星空を眺めて、宇宙がこのように進化していることを実感するのは難しいでしょう。このような自然界

の時間進化を記述することは物理学の対象です。今回の講演会では、世界の最先端で活躍中の京都大学の素粒子物理・宇宙物理・生物化学物理の先生方にそれぞれ、物質の起源、活動的な天体現象、非平衡系が作り出す構造について、わかりやすく解説していただきます。ぜひご参加ください。

日時: 2006年11月11日(土)午後1時~5時
会場: 京都大学百周年時計台記念館(大ホール)
講演プログラム:

特集テーマ「非平衡の世界」

1. 吉川研一(京大理物理学第一教室・教授)
「非平衡が創り出す時空間パターン」
2. 柴田一成(京大理附属天文台・教授)
「爆発だらけの宇宙」
3. 笹尾 登(京大理物理学第二教室・教授)
「宇宙の反物質と時間の矢」

講演終了後、午後5時半~6時半に、講師の方々と歓談できる簡単な茶話会(会費500円)を開く予定です。

受講料: 無料

対象: 中高校生以上

定員: 500名(申込多数の場合は、申込ハガキ又は電子メール先着順)

申込方法: 往復ハガキまたは電子メールに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、茶話会への出席希望の有無、を記入の上、下記にお送りください。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京大理学部物理学第二教室内 京都大学21世紀COE事務局 市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る」係

Tel: 075-753-3758

e-mail: shimin@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp

申込締切: 10月31日(火)必着 定員オーバーの節はご了承ください。

交通: 会場の京都大学時計台には公共交通機関でお越しください(バス停「京大正門前」より徒歩5分)。会場までの地図については以下を参照ください。 <http://www.kyoto-u.ac.jp/access/kmap/map1f.htm>

主催: 京大21世紀COE「物理学の多様性と普遍性の探求拠点」 <http://physics.coe21.kyoto-u.ac.jp/>

後援: 京都新聞社、物理教育学会、天文教育普及研究会、京都市教育委員会、京都府教育委員会

世話人: 柴田一成(京大理附属花山天文台)、太田耕司(京大理宇宙物理学教室)、田中耕一郎(京大理物理学第一教室)、野村 正(京大理物理学第二教室)、犬塚修一郎(京大理物理学第二教室)、国友 浩(京大基礎物理学研究所)

会務案内

2006年度日本天文学会 林 忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林 忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者（論文）の推薦をお願いします。締切は両賞とも2006年11月20日（月）（必着）です。下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送して下さい（論文賞についてはe-mailも可）。なお、封筒には「林 忠四郎賞候補推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記して下さい。とくに返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本学会年の春季通常総会（2007年3月29日、東海大学）にて行う予定です。

2006年度（第11回） 林 忠四郎賞推薦要領

この賞は、林 忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。分野等：広い意味での天文学（天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む）における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞件数：原則として各年に1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌（メダル）および賞金（30万円）。

推薦書の形式：表題は「2006年度林 忠四郎賞候補者推薦書」として下さい。前年度の被推薦者は、今年度再度推薦がない場合においても選考の対象とします。しかし、変更などがある場合は改めて推薦書を提出して下さい。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補者（被推薦者、連名授賞可）について：氏名（ふりがな）、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先（電話、Fax、e-mail）
- 2) 授賞対象とする研究の表題
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、Fax、e-mail）、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨（300字以内）

- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）

2006年度（第11回） 欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文がPublications of the Astronomical Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお、本賞の選考委員会は、林 忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文等：原則として過去5年以内にPublications of the Astronomical Society of Japan に出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者（共著の場合はすべての各共著者）に授与する。

授賞件数等：原則として1年に2件以内。賞状を授与する。

推薦書の形式：表題は「2006年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」として下さい。A4サイズの用紙（e-mailでも可）に、次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由（1,000字程度）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職・連絡先（電話、Fax、e-mail）、被推薦者との関係
- 4) E-mailで応募する場合はjimu@asj.or.jp宛に出して、受領した返事を必ずもらって下さい。

2006年度研究奨励賞（第18回） 受賞候補者の推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日（本年度は2006年1月1日）で35歳以下の者であって、毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌（メダル）および賞金（10万円）を併せ授与しています。本年度の受賞候補者の推薦を以下の要領でお願いします。

(1) 締切：2006年11月20日（月）必着

(2) 提出書類: ○候補者の氏名, 現職, 生年月日, ○授賞対象とする研究の標題, ○推薦者の氏名, 現職, 連絡先, 被推薦者との関係, ○推薦理由 (300字程度の要旨と本文), ○関連論文リスト, ○推薦に関連して最も重要な論文のコピー (3編以内)

(3) 提出先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

選考委員会では, 推薦された方の中から, 研究奨励賞内規に基づき選考を行い, 候補者を評議員会に推薦します。

2006年度(第6回)天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は, 近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動, 例えば長年の天体観測や, 突発的な現象の検出や的確な通報などを, 称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は, 天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。なお, 天文普及に関しましては, この賞の対象とはしないこととしております。対象者は, 「天文研究を主たる業務としない」個人および団体で, 日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は, 天体発見賞選考委員会が行い, 評議員会で決定します(天文月報2001年第12号632頁参照)。

天文学会の会員の方々からの候補者(団体)推薦を, 広く募集します。A4紙1枚程度で, 候補者(団体)名, 功績名(1行程度), 功績の説明を書いていただき, 日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 /Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp)にお送り下さい。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

推薦は随時受け付けておりますが, 今回の選考に確実に乗せるには, 2006年12月31日までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

早川基金応募者募集のお知らせ

日本天文学会では若手会員(35歳以下)を対象に, 「早川幸男基金」から海外学術研究の援助を行っています。観測, 研究発表, 共同研究など広い範囲を対象としており, (それなりに審査で差はつく可能性はありますが,) 現職によらず応募できます。

毎年4回(3, 6, 9, 12月の10日が締め切り)募集を行い, 一年に総額200~300万円程度の渡航旅費の援助を行っています。締め切り月の翌月の1日から3カ月後の月末までが期間となっている渡航が対象ですが, 前回の募集に間に合わず渡航した場合でも納得する事情説明がある場合には, その直後の回の締切に応募することができます。このような制度は他の学会ではあまり見られないものです。自分の研究そして日本の天文学の発展のために, ぜひ有効に利用してください。ふるってのご応募をお待ちしております。応募用紙の入手や詳細については, webページをご覧ください。日本天文学会のwebページ(<http://www.asj.or.jp/>)の「委員会: 早川幸男基金」から行くことができます。

編集委員会より

天文月報オンラインのID, パスワードは下記の通りです。

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード vol98 の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。

和田桂一(編集長), 今西昌俊, 亀野誠二, 齋藤正雄, 寺田幸功, 濤崎智佳, 戸谷友則, 洞口俊博, 増田 智, 矢野太平
 平成18年9月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
 定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2006年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)

2007年春季年会（東海大学）企画セッション募集

企画セッションは世話人制です。通常では一つのセッションに入らない（複数セッションにまたがってしまう）話題について、タイムリーで有意義な議論を行うためのものです。通常のセッションより柔軟な構成が可能です。提案される方（採用時には世話人となる、二人以上が望ましい）は、この説明全体をご一読の上、下記の要領でお申し込み下さい。

企画セッションの申込先と問い合わせ先：

年会実行委員会 企画セッション担当 中本泰史 (committee2007@nenkai.asj.or.jp)

締 め 切 り：2006年9月29日（金）午後5時

申し込み内容：・セッション名

・趣旨（簡潔に）

・世話人の氏名、所属、連絡先

・希望する割当時間

申し込まれた企画は、企画セッションの趣旨に照らし、年会実行委員会で検討した後、理事会で採否を決定します。内容の重複や年会全体の運営などを考慮し、内容や割当時間の調整をお願いすることがあります。ご了承ください。

世話人には企画セッションの運営・準備全般に関わっていただきます。具体的な手順は次の通りです。

- (1) 世話人は企画に相応しい基調講演者を決める。また tennet などを通じてセッションを紹介し、他の講演も募る。
- (2) 講演申し込みが全て集まったら、それらの発表形式（口頭、口頭+ポスター、ポスター）と講演時間を決める。口頭講演は（30-40）分の講演割当も可。他の口頭講演も必要に応じて若干の時間変更可。但し発表形式や割当時間の変更の際は、該当発表者に了承を得る。確定したら、指定された期間内に年会実行委員会に申し込む。
- (3) 年会全体のプログラム確定後、座長を決める。

企画セッションの講演申し込み手順は、通常セッションと異なります。世話人がセッションの全講演予稿をまず集め、プログラム確定後、一括してそれらの登録を行います。その詳しい作業手順や日程、プログラム上の制約については、採用決定後に世話人にお知らせします。良い企画をふるってご応募ください。お待ちしております。

（補足）企画セッションのr講演について

基調講演のうち一部を『r講演』という特別なカテゴリに分類出来ます。これは、その講演者に同一年会中にもう1件a講演を行うことができる権利を付与し、また非会員の場合は経費を免除することで、企画セッションの運営を助けるものです。r講演者の料金は、以下のように扱います。

・学会員：r講演分も通常と同じ講演登録費を支払う。

・非会員：企画セッションr講演に関わる参加費・講演登録費に限り免除。

r講演は1企画セッションあたり数件で、認定には年会実行委員会の承認が必要となります。

中本泰史（年会実行委員会企画セッション担当）

百瀬宗武（年会実行委員長）